

毎月1回発行するスタハ通信では、生徒の学習状況や実績、検定や模試の情報などをお伝えします。

今月の小学生

小学生の“スタドリ”

生徒はスタハオリジナルのドリル（通称“スタドリ”）学習ツール使用しています。『ドリルなら家庭学習でやってる！』というお子さんも沢山いますよね。ここでちょっとスタハドリルのご紹介をします。他のドリルと違うところ…それはドリルを始める前に生徒の理解度を確認するのです。そしてそのレベルに合ったドリルから始めます。ポイントは、この“レベル”を把握するところです。現在の学年より下の学年の問題までさかのぼって苦手や弱点を解決します。このきっかけを作るのが早ければ早いほど、中学校への準備が整います。そして授業の内容が分かることで勉強が楽しくなり、学校の授業にも集中して取り組めるようになるでしょう。

今月の中学生

学習計画表が重要！

中学生になると、小学生の頃とは生活スタイルが変わる生徒がほとんどです。部活に入る、塾に行く、など。そして、そのスケジュールを頭で管理しているお子さんもいるでしょう。『学習』のスケジュールを割り当てているようで漠然としていませんか？このなんとなくを無くすために、スタハでは『学習計画表』活用しています。毎日起床してからのスケジュールを書き込み、その日実行した教科、学習時間まで細かく記入。書き出すことで自身自身の成果や反省点など全てが見えてくるため、客観的に行動を把握できます。



今月の高校生

1500時間の学習？！

高校生は11月6日のスタハ内の全国模試に向けて、11月5日までに1500時間の学習が課せられました。ここで間違っはいけないのがインプットとアウトプットの関係性。1500時間であれば1000時間はアウトプットの演習がメインになりますが、この貴重なアウトプット時間をどのようにコーディネートしていくかがポイントになります。スタハでは医学部を含めた難関大学への合格輩出データをもとに最低限の学習をマネジメントできます。ですから、この問題集をやれば良い。大丈夫ということがありません。強いて言えば生徒によって生徒の理解度、そもそもの解き方によって学習量、学習マネジメントが違います。

今月の既卒生

難関大学合格に向けて

大学受験は全国の生徒と競い合って勝った人が合格できる、部活で言えば“全国大会”です。秋田の小中学生の学力は全国でも上位とされていますが、こちらのテストは私立では実施していないため、実態として秋田大学の偏差値を基準とすると秋田の高校生の学力は全国でも45番目とされています。そんな中で都内の大学への進学を考えているのであれば、自分の得意と不得意を炙り出して、各大学での受験科目と配点基準を照合した上での受験勉強戦略が必要なのです。今年は東北大学や早稲田大学を狙っている既卒組がありますが、元高校教員の須合が合格までしっかりマネジメントして絶対合格します！